

HSK — なんねん

おとふけ

NO. 17

昭和48年1月13日第三種郵便物認可
HSK通巻第263号
1994年2月10日
毎月10日発行(1部100円)
(会費に含まれています)
編集 財団法人北海道視覚障害者支部
発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会(HSK)



新年を迎えて

支部長 菅原貞助

会員の皆様 明けましてお目出とうございませす
皆様にはご家族ともどもお元気に新春をお迎
えのことと存じお慶び申し上げます。

平成5年度を省り見ますれば、正月早々の釧路沖
地震にはじまり、夏の南西沖地震、80数年来とも
言われる大凶作、それに伴う米不足、外米の輸入
長期保守政権の崩壊、そして清新さと国民の期待を
帯びて誕生した連立内閣。

米をはじめ農畜産物に至るまでの貿易自由化を
全農民反対の渦巻く中で、裏交渉で取り決め、その
余勢を得たかの政治改革法案の審議の合間を見計
らい、私達の難病患者、長期治療、或いは療養を要する
者にとっては見逃がす事の出来ない食事代や室代の
有料化等の法案が今度の通常国会にかけられよう
としています。

福祉国家、福祉社会を唱える行政機関としては
誠に残念であり強い怒りを禁じえざる次第でありま
す。昨年11、15の全国規模で決行されました、これ等
の医療法改悪反対行動に私も参加させて頂きまし

たが、今後とも根強く此の種の行動を続けて
実のある成果を掲げるべく努力を続けるべきと思
います。

皆様には新年を迎えるに当たり、今年こそはと
期待と抱負を胸に秘め、1日1日を大事にお暮し
の事と存じます。

寒さ厳しく家の中に閉じこもりがちですが、服装
に留意、風邪、転倒骨折その他の負傷等に充分
ご留意の上、社会参加を目指して、お互い手を取
り合い乍ら頑張ろうではありませんか。

ご自愛をお祈りし年頭のご挨拶と致します

JPC(日本患者・家族団体協議会)国会請願署名募金
にご協力を!

毎年全国一斉に行なわれている難病対策の早期確立
を要望する請願署名です。

×切は4月末日ですので、ご近所や職場の方等に
訴えていただきたいと思ひます。今年は国会請願
行動が6月6日に予定されています。

音更支部から1~2名参加の予定ですので、署名と
旅費等に用いられる募金に是非ご支援・ご協力の程
よろしくお願ひ致します。用紙は事務局にあります。



福祉制度に関する講演及相談会の
ご案内

主催 (財)北海道難病連音更支部

日時 1994年2月27日(日)

13:00～16:00

会場 音更町保健センター集会所

参加費 無料

参加対象 難病患者・家族・一般町民

講師 服部雅之氏 (帯広厚生病院医療ソーシャルワーカー)

相談会 服部雅之氏

芦野健一氏 (帯広協立病院医療ソーシャルワーカー)

問い合わせ先 難病連音更支部事務局

TEL・FAX 31-8723

日頃 入院や在宅療養等が困ったこと疑問に思うことはありませんか

第3回 クリスマスパーティーを終えて

昨年12月5日(日)午後より町保健センターにてクリスマスパーティーを開催。参加者は75名
ダービークイズや各テーブル毎で魚名を考えるゲーム
はるばる室蘭からやってきました芝垣晶子さんに
伝統芸の仙助流南京玉すたれを披露して頂きました。
参加者の中から2人舞台に出る。さっそく手ほどきを
受けるも、歌と手元がなかなか合わず、笑いを誘う
場面もしばしば。アメやお菓子のつかみ取りを楽
しんだり、皆んなで合唱したりして楽しみました。
コヒ-喫茶店も音更たんぽぽの会の方々のご好意で
運営して頂きました。

当日は支部で用意したケーキの他に匿名の方より
大きな特製ケーキや焼鳥のプレゼントや沢山の方より
ポテトチップス・即席スパゲティ・ジュース・景品の寄贈や寄付を
頂きました。ご協力いただきました皆様に厚く御礼
申し上げます。

反省することも多くありますが、次回のクリスマス
パーティーに向けて、活かしていきたいと思えます。

～ クリスマスパーティー参加者の感想 ～

あすなろ会 佐藤時重

今年も皆様のお陰でクリスマスパーティーに参加させて頂きました。盛り沢山のゲームもあり、アツと云う間にお開きになりましたが、何と言っても目玉は南京玉すたれで、本当に昔なつかしい出し物で、又会場のおばちゃん（なおらないさまも南京玉すたれ）には大笑い、特筆ものです。又大谷短大生も大活躍で、尚役員の方々、ボランティアの御苦勞も大変だったと思います。又支部長様始め多数の方々の寄付を頂きましたことを感謝致しますと共に皆様方の御健康並びに御多幸をお祈り致します。

匿名女性

クリスマスパーティー準備・進行などごくろうさまでした。司会の女の子2人が明るく楽しく進めていたと思います。プログラムも午が込んでいてステキですネ。ゲームは内容が考えられている。みんなが参加でき、すごく楽しかったので1回だけでなくダービーも、もう1回他の問題でやりたかったなと思いました。はじめて参加させてもらいましたがとても楽しかったし、ケーキもおいしかったし良かったです。

ありがとうございました

又何かありましたら参加させて下さいネ

実行委員長 永山喜一

私はXmasパーティーに参加するのは今回が初めてです。にも拘らず“実行委員を申し出たのが後の祭り、何にも勝負がわからぬまま終つてみれば失敗ばかり、他の実行委員の足手まといになってしまった。

しかし、企画、準備の段階から楽しくお手伝いもでき、何んと言つてもパーティーを盛り上げたのは参加者全員で私も大いに満喫できました。充実感が心に残り参加して本当に良かったと思います。

来年も多くの方々の参加により、楽しいXmasが迎えられる事を切に願います。これからも皆さんとの交流の中での出来事に一喜一憂していきたいと思ひます。

大谷矢豆大 社会福祉科1年 小田中真弓

初め私達が、この難病連の方々と知り合つて本当に明るくていいなあと思ひました。正直言つてこんなばかなことはばかりやつている私達を広い心でみんな笑つて受け入れてくれたことに、とても感謝しています。

そしてクリスマス会の司会を任された時、本当は全々イメージがわかなくて、どういふ雰囲気が進めよういくべきか、私達がやつてもいいのだろうかと不安でもありました。そのためクリスマス会が始まったばかりの時

雰囲気がかめなくて「ああ失敗したな」と心の中で思っていました。まわりの方々の盛り上げや、皆さんが乗ってくれたこともあり、私達もいつもの調子で進めていくことが出来ました。嬉しかったのは最後に支部長始め「司会よかったよ、ごくろう様でした」と言って下さった時本当に言葉がでませんでした。

たくさんの方のいたらない点があり、自分達の反省点もたくさんありますが、そこはこれからの課題としていきたいと思えます。

たくさんの方の笑顔にふれることができたことと、このクリスマス会に参加できたことに深く感謝しております。ありがとうございました。

そして、これからもよろしくお願ひします。



大谷短大 社会福祉科1年 佐藤美奈

私が難病連という組織を知り今回の催しに参加する事が出来たきっかけは、ほんのささいな事からでした。

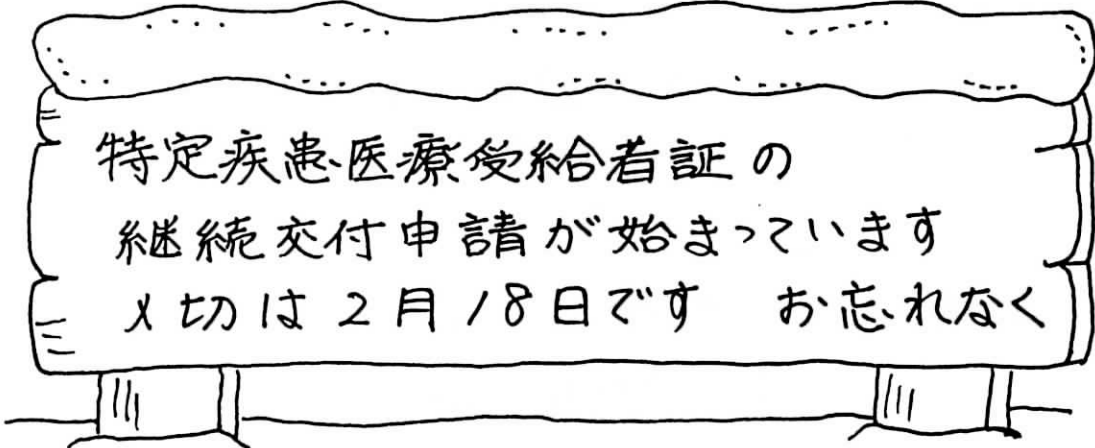
4月、大学の掲示板にボランティア募集のはり紙を見つけました。内容は車イス介助等を札幌に行つて学んでくるというもので、本州から来ている私にとっては、北海道も初めてなら、札幌も初めてです。はり紙には旅費・参加費負担とも書いてあります。私はタダで札幌へ行けると

いう不純な動機で参加を決めました。

しかし、それに参加し、たくさんの人々と出会い、色々な事を体験し感じる事が出来、難病連に対して興味を持ち始めました。

今回クリスマスパーティーにおいて、司会に決まった時は不安でした。何せ4月に難病連という組織を知り、関係者の方とは、さほど面識もないのです。そして何よりも不安だったのは、自分には福祉に関する知識も技術もまるでなかった事でした。ですから司会といっても何ひとつ満足にはいかず、動作のひとつ、ひとつがぎくしゃくしていたような気がします。それにもかかわらず、最後まで好きなようにまかせ下された難病連関係者の皆様、参加者の皆様、そして今回一諸に司会を務めた小田中さんに心から、お礼を申し上げたいと思います。

●「ありがとうございました」



特定疾患医療受給者証の
継続交付申請が始まっています
メ切は2月18日です お忘れなく

健保改悪反対JPC(日本患者・家族団体協議会)

ニュースより (JPC情報第2号より)

入院給食はこう変わる

厚生省の原案では、入院時の給食に対する保険給付方式を現行の療養給付方式から、定額負担としての「入院時食事療養費(仮称)」を新たに導入する考えです。

入院時食事療養費とは

健保法43条で①診察②薬剤・治療材料③処置・手術④病院又は診療所への収容⑤看護⑥移送と定められている「療養給付」から④の「収容」の中に含まれていた入院時食事を、別に「入院時食事療養費」として創設することです。

これまで患者が入院給食費として、それぞれ1~3割りを健保の中で負担していたのをやめ、一律800円の負担にしようとするのが「入院時食事療養費」です。

一般を800円

住民税非課税世帯を660円

老人の場合も住民税非課税世帯を660円

高齢福祉年金受給者などには、もう一段の減額をするとして
います。

公費負担医療の対象者には

公費負担医療の対象者については、引き続き負担が生じないように措置するとしています。

しかし国の財政の削減や国民医療費の高騰から「不公正・不均衡」などを理由に打ち切られる事態も考えられます。現在公費負担になっている難病患者も、難病対策専門委員会の「見直し」で今後の保証はなく不安定な状況におかれています。

しかも、難病の公費負担打ち切りは、法律ではなく厚生省令のみで出来ることとなります。

また、入院時給食費は高額療養費の対象には加えない方針ですが、患者負担は増大していきます。

厚生大臣あて抗議のハガキ要請運動を

全会員が最低一枚の自筆の抗議のハガキをお願いします

あて先

〒171 東京都豊島区目白2-38-2 紫山会ビル JPC事務局

- ・集約時期 1月末 2月末 3月末と順次設定します
 - ・まとめて厚生大臣にJPCから提出します。
 - ・私達患者のそれぞれの実情を書いて出して下さい。
- この運動が健保改悪法案の上程を断念させる力となる

ことを確信して進みましょう

★(財)北海道難病連の協力会にお入り下さい★

安定した財源確保のために協力会員を募っています
年会費 / 口 2,000 円で 2 分の 1 は支部や
部会 (疾病別患者会) の収入になります。

訃報

どんぐりの家運営委員会の委員を引き受けていただ
いておりました野々村勝年さん(視覚障害リハビリをえめ
る会音更代表)が昨年11月24日心筋硬塞の為に
急逝されました。生前 難病連音更支部活動や
どんぐりの家運営にあたっては何かとお力添えを
いただいていた。今までご支援いただいたことに
深く感謝致しますとともに、心よりご冥福を
お祈り申し上げたいと思います。

HSK・なんれん おとふけ

編集人 (財)北海道難病連音更支部 穀内 さかえ
音更町

昭和48年1月13日第3種郵便物認可

1994年 2月10日発行 HSK通巻263号

発行人 北海道身体障害者定期刊行物協会 細川 久美子
札幌市中央区北9条西19丁目
